

インマヌエル中目黒キリスト教会

2015年2月22日聖日礼拝

「ストーリーを語る」

ヨハネの福音書5章1節-15節

河村従彦牧師



聖書朗読

旧約聖書

ヨハネの福音書5章1節-15節

聖書本文は新改訳聖書第三版
(©新日本聖書刊行会) を使用しています。

第二版の聖書はp165~/第三版の聖書はp181~

- 1 その後、ユダヤ人の祭りがあって、イエスはエルサレムに上られた。
- 2 さて、エルサレムには、羊の門の近くに、ヘブル語でベテスタと呼ばれる池があって、五つの回廊がついていた。
- 3 その中に大ぜいの病人、盲人、足のなえた者、やせ衰えた者たちが伏せていた。

- 5 そこに、三十八年もの間、病気にかかっている人がいた。
- 6 イエスは彼が伏せっているのを見、それがもう長い間のことなのを知って、彼に言われた。「よくなりたいか。」
- 7 病人は答えた。「主よ。私には、水がかき回されたとき、池の中に私を入れてくれる人がいません。行きかけると、もうほかの人が先に降りて行くのです。」
- 8 イエスは彼に言われた。「起きて、床を取り上げて歩きなさい。」

9 すると、その人はすぐに直って、床を取り上げて歩き出した。ところが、その日は安息日であった。

10 そこでユダヤ人たちは、そのいやされた人に言った。「きょうは安息日だ。床を取り上げてはいけない。」

11 しかし、その人は彼らに答えた。「私を直してくださった方が、『床を取り上げて歩け』と言われたのです。」

12 彼らは尋ねた。「『取り上げて歩け』と言った人はだれだ。」

13 しかし、いやされた人は、それがだれであるか知らなかった。人が大ぜいそこにいる間に、イエスは立ち去られたからである。

14 その後、イエスは宮の中で彼を見つけて言われた。「見なさい。あなたはよくなった。もう罪を犯してはなりません。そうでないともっと悪い事があなたの身に起こるから。」

15 その人は行って、ユダヤ人たちに、自分を直してくれた方はイエスだと告げた。

説教

「ストーリーを語る」 ヨハネの福音書5章1節-15節

河村従彦牧師



- 1 カナの婚礼 2:1~11
- 2 王室の役人の息子 4:43~54
- 3 ベテスダの病人 5:1~18★
- 4 五千人の給食 6:1~15
- 5 湖の出来事 6:16~21
- 6 生まれつき目の不自由な人 9:1~41
- 7 ラザロの復活 11:1~57

I 直ったストーリー 11節

イム マヌエル511番「罪とがを赦され」

罪とがを赦され 神の子となりたる
わがたまの喜び 比べうるものなし
〈折り返し〉

日もすからあかしせん 夜もすから主をほめん
「み救いはたえなり み救いはくすし」と

折り返しの部分

英語) This is my story, this is my song,

和訳) これが私のストーリーです。

これが私の歌です

2. 会堂での教え(1節b-3節)

- パウロたち、会堂に行く
- 会堂での教え:
「ナザレのイエスこそメシヤ(キリスト)」

II もう一つのストーリー 7節

A イエスさまの姿勢

1 見た

2 知った

3 言われた。「よくなりたいか」
信仰の確認？

B この人の反応

- 1 一見すると不信仰
- 2 語る隙間 ~6節から8節でもOK
- 3 語らせてくださるイエスさま
- 4 模範解答でない身の丈

C この人のストーリー ～38年分

- 1 自分の人生は不本意だ
- 2 だれも助けしてくれない
- 3 日常から切り離されて放置されていた
- 4 無力感が常態化していた
- 5 否定的な緊張感にとらわれていた
- 6 ネガティブな競争があった
- 7 受けの疲れがあった
 - (1) 見られる疲れ
 - (2) 聞かれる疲れ

D 語ることの意味

1 自分が生きてきたことの整理

2 語ることそのものが恵み

III 私のストーリー

A 私の38年を一文で

B ストーリーの見線 ～どこを聴くのか

- 1 経験の中に見えるその人そのもの
- 2 その人にしか語れないオリジナルなことば
- 3 38年の意味
 - (1) それくらの期間を通して大切なことを実感
 - (2) かなりシンプルなもの

しめくりに

信仰は身の丈を語る